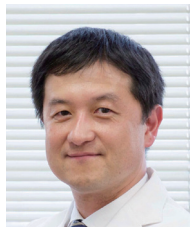


特集 4 高齢者のめまい (ベスティブルフレイル)



きたはら ただし

北原 紬

奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授／
めまい難聴センター センター長

要旨

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を迎え、加齢性前庭障害、ベスティブルフレイルという分野は、転倒—骨折—寝たきり—認知症という負のスパイラルの出発点となるため、健康寿命、医療経済を考える上でも解決すべき最重要課題の一つとなる。健康寿命を考えるということは、すなわち、加齢性前庭障害、ベスティブルフレイルの予防を考えることに他ならない。「傾かなければ転けない」、そう考えれば超高齢社会におけるめまい診療医の役割は大きい。

キーワード

高齢者めまい, 良性発作性頭位めまい症 (BPPV), 加齢性前庭障害, ベスティブルフレイル, 負のスパイラル, 前庭リハビリテーション